

# 令和元年度 川場村のあゆみ

## 日仏韓の友好と地方創生・均等発展を目指して

5月27日（月）、フランスの地域間平等省と韓国の国家均等発展委員会が川場村の視察訪問に訪れました。当日は田植祭を見学された後、道の駅川場田園プラザや永井酒造、吉祥寺、ふじやまビレッジを視察されました。地域間平等省のセルジュ・モルヴァン長官は「日本の古き良き風景を見ることができた」と述べられ、本村の地方創生や国際交流の取組について理解を深めていただきました。これからも農業や地域間の交流を深め、更なる国際交流を進めていきたいと考えています。



## 長年の夢かなう！ ～農林水産大臣賞受賞～

6月21日（金）、関直太さん（生品）が第67回群馬県特産品展示即売会において、農林水産大臣賞を受賞されました。県内で生産される農産加工品、木材工芸品及び特産品等の品質向上を目的に催されています。関さんは長年この賞を目標に「座敷箒柄付5玉」を生産しており、ようやく受賞することができたと喜ばれていました。また、「次は全国で上を目指したい」と意気込みを語ってくれました。



## 25回目のホームステイへ出発（アメリカワイオミング州）～川場村中学生国際交流事業～



8月15日（木）から8月22日（木）までの8日間、川場中学校の3年生18名が、アメリカ合衆国ワイオミング州スターバリー地方において、川場村中学生国際交流事業に参加しました。

この事業は、アメリカの生活や文化を体験することで国際感覚を養い、国際性豊かな人間の育成を目的に平成7

年度から実施しており、今年で25回目、延べ865名の生徒を送り出すことができました。

生徒たちは、それぞれのホストファミリー宅で3日間を過ごした後に、全員でイエローストーン国立公園やグランドティートン国立公園等を見学しました。

この8日間の体験をとおして感じたこと、学んだことをこれからの生活に生かしてほしいと思います。



### 株式会社田園プラザ川場が「2019エクセレンス認証」に認定

「エクセレンス認証」とは、トリップアドバイザーに掲載されている施設の中で過去一年間に優れたホスピタリティを提供していると旅行者から高く支持された宿泊施設、観光施設、レストランに授与される世界標準の認証です。

株式会社田園プラザ川場は5年連続の認定となり、素晴らしいおもてなしやサービスを安定して提供していると評価されました。



田園プラザ川場（道の駅）



5年連続で高い評価を受けています

### 第6回「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」

令和元年10月21日（月）に総理大臣官邸で開催された「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」（第6回選定）第3回有識者懇談会において、第6回選定として応募総数931件の中から31地区及び5名が選定されました。コミュニティ部門・ビジネス部門・個人部門の3種類があり、コミュニティ部門の一つに富士山集落活性化協議会が選定されました。

当協議会の活動の成果として、「冬×ふじやまプロジェクト」や「夏×ふじやまプロジェクト」、棚田オーナー、農業体験など集落内で、実習や研究を実施する教育機関が増え、交流が深まった結果、



学生達と一緒にワークショップを開催するなど、新たな交流が生まれた事などが評価されま

した。



令和元年12月3日（火）総理大臣官邸で選定証授与式と交流会が開催されました。

## 農林水産省 ディスカバー農山漁村（むら）の宝の取組

「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」とは、「強い農林水産業」、「美しく活力のある農山漁村」の実現のため、農山漁村の有するポテンシャルを引き出すことにより地域の活性化、所得向上に取り組んでいる優良事例を選定し、全国に発信するものです。

選定の対象となる取組は、地域において、新たな需要の発掘・創造や埋もれていた地域資源の活用を行うことにより、農林水産業・地域の活力創造につながる、次の①から③のいずれかに該当する取組とします。

- ①美しく伝統ある農山漁村の次世代への継承
- ②幅広い分野・地域との連携による農林水産業・農山漁村の再生
- ③国内外の新たな需要に即した農林水産業の実現

## 川場村の新たな原動力に ～飲料水生産工場 竣工式及び落成記念式～

12月15日（日）、固形燃料や飲料水の製造を手掛ける株式会社ニチネンは、川場湯原地区で建設中だった飲料水生産工場の竣工式及び落成記念式を同工場で行い、200名を超える村や企業の関係者が新工場の完成を祝いました。また、上州武尊太鼓連の演奏や、マスコットキャラクターのかわたん、ぐんまちゃんとの写真撮影、初代ミス日本酒の森田真衣さんによるトークショーなど、盛りだくさんの内容でイベントに花を添えました。今後、雇用の創出や川場村の豊かな水のPRに繋がっていくことが期待されます。



## 全国の舞台で銅賞に輝く ～川場小マーチングバンド～

11月23日（土）、大阪城ホールにおいて、「第38回全日本小学校バンドフェスティバル」が開催されました。9年連続でこの大会に出場した川場小学校マーチングバンド「川場キッズ」は、今年こそ再び金賞を目標に7分間の演奏に100%の力を出し切りました。結果は目標に届かず「銅賞」でしたが、とても貴重で意味のある賞を受賞しました。金賞を受賞できず涙を飲んだ子どもたちは、これからもっと強くたくましく成長し、活躍できると期待しています。これからも感謝の気持ちを忘れずに、心に響く演奏を届けてください。





## 伝統芸能を継承する ～門前春駒が県境を越え新潟にてお披露目～

11月24日(日)に、にいがた文化遺産推進プロジェクト実行委員会・新潟県立歴史博物館等が主催する「伝統芸能上演会 春駒の集い」が新潟県妙高市の新井ふれあい会館で行われ、門前春駒保存会が招待を受け、新潟で伝承されている5団体の春駒保存会と共演してきました。共演して分かったことは、春駒唄は多くの団体に似たような内容が含まれていることでした。しかし、踊りの内容はそれぞれの地域でかなり違った伝承がされています。門前春駒のように門付け(一軒一軒家を回る)は、ほとんど無くなり婚礼などのめでたい席で行われることが主な活動のようでした。

「春駒とは何か」という講演の中では門前春駒の伝承や内容がかなり詳しく解説され、数



ある春駒唄の中でも、養蚕飼育の工程をきちんと歌い込んでいて基本型と言えるとのことでした。また、門前の春駒唄は110行あり、かなり長いようです。保存会のメンバーは、他県の春駒との交流や門前春駒を周知したことを通して、今後も伝統の継承に取り組んでいきたいと思っています。2月11日の春駒まつりに、ぜひお出かけください。

## 関東農政局による現地調査



11月7日(木)、県内報道関係者を招いた関東農政局群馬県拠点主催の現地調査が開催されました。これは関東農政局群馬県拠点が毎年開催しており、今年度のテーマは、川場村産コシヒカリ「雪ほたか」が他産地との差別化を図り、ブランディングに成功した取り組みと題し、雪ほたか生産者の田んぼ、川場村ライスセンター、道の駅川場田園プラザを視察いただきました。参加者は、県内の報道関係者をはじめとした総勢22名で、各視察場所にて熱心に質問され、有意義な現地調査となりました。

## 雪ほたか 大躍進！！ ～令和元年産「雪ほたか」が各お米コンクールにて最高賞受賞～



11月28日(木)～29日(金)に「第16回お米日本一コンテスト in しずおか」が静岡県で開催されました。総出品点数601点のうち、上位6点に与えられる最高金賞を川場湯原の久保田充さんが受賞されました。

また、11月30日(土)～12月1日(日)には国内最大

規模を誇る「第21回米・食味分析鑑定コンクール：国際大会 in 木更津」が千葉県木更津市で開催され、総出品点数5,137点のうち上位18点に与えられる金賞を立岩の小林仁志さんが受賞しました。小林さんは今大会で4年連続4度目の受賞となり、雪ほたかとしても通算12回目の金賞受賞となりました。

